

スポーツ かわさき

No. 25



川崎市体育協会

体協法人化へ具体的な一歩を踏み出す

平成2年度川崎市体育協会総会開かれる

川崎市体育協会総会（理事・評議員会）が、去る5月23日に市立教育文化会館で開催され、平成2・3年度の役員選出、平成2年度の事業計画および予算案がいずれも原案どおり採択されました。

「健康都市川崎をめざし、体育施設の充実をはかる」高橋 清会長（川崎市長）語る

総会の冒頭のあいさつで、川崎市長でもある高橋清会長は、「市民の健康の増進をめざし、健康都市といわれるよう、積極的にみなさんとともに進めていこう。そのために施設設備の充実を図りたい。とりわけ、平成10年の神奈川国体をめざし、等々力にかなり大きな体育館を平成5年までに完成させたい。また、等々力の陸上競技場も国際競技のできるようなものにしていきたい。健康増進のために各区に体育館を造りたい。みなさんとともに、ほんとうに川崎の体育が盛んになるよう、がんばろう」と語りました。

平成2・3年度役員選出される

理事長・常任理事などほぼ留任

総会は、日野原守理事長の議長で進行され、吉田敏郎事務局長から平成元年度会務・事業報告、古川幸一会計から同決算報告、荒川美夫・狩屋一夫監事から同決算監査報告が行なわれ、いずれも承認。続いて、規約に基づいて、平成2・3年度の役員選出が行なわれ、常任理事の中で、市教育委員会の人事異動に伴い荒金秀直氏に代って永井日出男氏が交替、他は留任と決定しました。（役員一覧は別掲）

国体にむけて各種目団体の

強化計画を促進しよう

引き続き、平成2年度事業計画案・同予算案が事務局から提案され、満場一致で承認されました。そのうち主なものは次のとおり。

①国体にむけて強化事業費に市からの助成が行なわれたが、各種目団体は、それぞれの強化計画を作成促進をばかすること。②平成10年に53回国民大会開催県として本県が当ることがすでに決定しているが、3月末の時点で、「一次段階の決定」として、本市開催予定の種目は、テニス成年

男女、バスケットボール成年男子、ハンドボール少年男女、軟式野球成年男子の一部、それに夏季大会のボウリング全種別ということになったことなどが報告された。

決定された本年度の川崎体育協会の主要施策は次のとおりです。

平成2年度川崎市体育協会主要施策

- (1)各種市民体育大会の開催について（市委託事業）
 - ①春季市民体育大会（5種目）
 - ②市制記念体育大会（13種目）
 - ③秋季市民体育大会（16種目）
 - ④市長杯大会・その他（11種目）
- (2)各種スポーツ活動の普及・充実・強化について（体協主催事業）
 - ①スポーツ教室
 - ②講習会
- (3)各種専門委員会活動の活発化
 - ①財務委員会 ②事業委員会 ③競技委員会
 - ④広報委員会
- (4)スポーツ少年団の育成・強化
- (5)選手・役員の派遣事業の充実
- (6)指導者相互の連携強化

市体協法人化にむけて

資金調達案、目標期日決定する

事務局から「その他」の議題として、懸案の川崎市体育協会法人化の具体的な手順、方策が提示され、討論の上満場一致で原案どおり可決され、いよいよ具体的に歩を進めることになりました。

その方策は、①資金調達案としては、昭和61年から平成3年まで6ヶ月間の賛助会費積み立て分をまずこれに充てること。予定額不足分については、加盟種目団体が募金活動を推進し、その不足分を補填すること。②法人化目標期日を平成4年4月とする。ということです。

平成元年度 体育功績賞

優秀選手賞(魚津賞)授与式開かれる

去る5月23日に市立教育文化会館において、平成元年度体育功績賞授与式・優秀選手賞(魚津賞)授与式が行なわれました。功績賞受賞者は、13名、魚津賞受賞者は個人15名、団体は4団体でした。いずれも高橋清会長(川崎市長)から賞状賞品が直接手渡されました。

「体育功績賞」は、本年(平成2年1月)から新設されたもので、川崎市体育協会の加盟団体及び構成員で、スポーツの普及、振興に顕著な功績のあった者に与えられる賞です。

「魚津賞」は、本市の軟式庭球の発展に多大な功績を残した故魚津利氏をたたえて、優秀な成績を残した選手及びチームに対し、激励と今後の活躍を期待して贈られる本市スポーツ界最高の賞です。



体育功績賞受賞者



優秀選手賞受賞者

高橋 清市長を囲んで受賞された人々

体育功績賞受賞者

- 寺本 安弘 (バレーボール)
- 酒井 治 (バスケットボール)
- 高倉 億八 (卓球)
- 杉井 勉 (テニス)
- 保田 満 (柔道)
- 浦上 義満 (剣道)
- 森崎 幸一 (相撲)
- 増子 春雄 (山岳)
- 福島 宣充 (水泳)
- 山本十三二 (体操)
- 吉岡 幹雄 (サッカー)
- 野口 晏正 (空手道)
- 加藤時太郎 (野球)

優秀選手賞(魚津賞)受賞者

○個人の部

1. 中谷 等 (26) 水泳 日本実業団水泳大会 200m個人メドレーリレー優勝
2. 阿部 辰夫 (30) 水泳 " 50m平泳ぎ優勝

3. 杉沢 毅志 (21) 水泳 " 200m自由形優勝
400m自由形優勝
4. 佐藤 友秋 (24) 水泳 " 100mバタフライ優勝
200mバタフライ優勝
5. 中尾 健一 (22) 水泳 " 100m平泳ぎ優勝
200m平泳ぎ優勝
6. 唐鎌 典子 (20) 水泳 " 100m自由形優勝
200m自由形優勝
7. 相良久美子 (21) 水泳 " 50m平泳ぎ優勝
100m平泳ぎ優勝
8. 福原 美紀 (21) 水泳 " 50mバタフライ優勝
100mバタフライ優勝
9. 野口 拓子 (23) 水泳 " 100m背泳ぎ優勝
10. 橋田 美香 (15) 水泳 全国ジュニアオリンピック水泳大会 100m平泳ぎ優勝
11. 鈴木富士久 (39) 卓球 全国高校定時制大会 シングルス優勝
12. 永見 玄 (15) テニス 全国中学生テニス選手権大会 シングルス優勝
13. 常盤 安 (15) テニス 全国選抜ジュニアテニス選手権大会 シングルス優勝
14. 星野 敬子 (37) 剣道 全国家庭婦人剣道大会 優勝
15. 長谷川 清 (45) #カワサキ 全日本実業団個人ボウリング大会 40歳代の部 優勝

○団体の部

1. 富士電機川崎女子バレーボール部 全国選抜実業団バレーボール大会 優勝
2. NKK女子水泳部 日本実業団水泳大会 総合優勝(2年連続)
3. NKK男子水泳部 日本実業団水泳大会 総合優勝(3年連続)
4. 富士通水泳部 日本実業団水泳大会 400mフリーリレー 優勝
400mメドレーリレー 優勝

それぞれの走春賦・第4回市民マラソン大会

夜来の雨も上がり、スタート時刻が近づくにつれ、新春の陽光も顔をのぞかせた等々力陸上競技場で、第4回市民マラソン大会が行われた。

今回は、当初予定の11月開催が市長選挙等の関係で3月4日に変更になったにもかかわらず、1500人近くのランナーが参加し、それぞれの多摩川の春を満喫した。

午前10時、高橋市長のスタート合図で20キロの部の433人が、そして10分後、10キロの部の1047人が、雨で洗われたタータントラックを力強くかけだしていった。

前回は11個の大会記録が出たが、今回は高校生女子10キロの部で上位6人が大会記録を上回っただけにとどまった。

次回は、来年（平成3年）3月3日に行われることになっている。多くの市民ランナーの参加を期待したい。また、併せて多くの競技ランナーの参加もお願いしたいと思う。そして、競技ランナーと市民ランナーのふれあいのある「川崎新時代」にふさわしい大会にしていきたいものである。

なお、各部門3位までの記録は次の通りである。

（○印は大会新記録）

※ 20キロの部 35歳以下の男子

1. 田中 浩二 1° 06' 38
2. 厚地健一郎 1° 06' 53
3. 樋瓜 孝治 1° 08' 18

※ 20キロの部 36歳以上49歳までの男子

1. 横尾 和夫 1° 09' 23
2. 南雲 重男 1° 09' 34
3. 吉田 幹夫 1° 08' 41

※ 20キロの部 50歳以上の男子

1. 松村 忠三 1° 14' 53
2. 弘本 圭右 1° 15' 22
3. 大沢 経一 1° 16' 53

※ 20キロの部 一般女子

1. 湯本恵美子 1° 27' 58
2. 榊山美智子 1° 30' 07

3. 丸山 博子 1° 30' 55

※ 10キロの部 35歳以下の男子

1. 小金沢英樹 32' 55
2. 菅山 智幸 33' 03
3. 伊藤 昭一 33' 48

※ 10キロの部 36歳以上49歳までの男子

1. 星野 政信 33' 53
2. 稲本登志治 34' 15
3. 加藤 泰彦 35' 48

※ 10キロの部 50歳以上の男子

1. 石井 秀夫 33' 57
2. 田原 兼晴 36' 34
3. 井上 勝次 37' 44

※ 10キロの部 35歳以下の女子

1. 刀弥さちえ 41' 48
2. 前田 明子 45' 32
3. 中条 薫 45' 35

※ 10キロの部 36歳以上49歳までの女子

1. 藤川 ユリ 43' 12
2. 山口 通子 43' 44
3. 高橋 礼子 43' 59

※ 10キロの部 50歳以上の女子

1. 小林 裕子 48' 17
2. 磯田三十鈴 51' 24
3. 加藤 公子 53' 53

※ 10キロの部 高校生の男子

1. 大沢 浩太 33' 11
2. 伊東 研吾 33' 51
3. 蒲 大樹 34' 14

※ 10キロの部 高校生の女子

1. 川辺 裕子 ○ 38' 57
2. 佐藤ゆき美 ○ 40' 29
3. 篠原砂織里 ○ 40' 56

来年の大会は3ねん3がつ3かです

フェアプレイで日中友好

— サッカー瀋陽市遠征記 —

川崎市選手団団長

川崎市サッカー協会 吉岡幹雄

6月25日、中国民航機に乗り込んだ我々、川崎市サッカー瀋陽遠征チーム総勢24名は一路瀋陽市へ向かった。今回の遠征は、姉妹都市瀋陽の主催する国際友好サッカー大会への参加であり、川崎市の代表として東芝サッカー部が出場した。

25日深夜、瀋陽市のホテルに到着。遅い夕食。出てきた中華料理が旨かった。翌26日、代表・監督会議があり、ソビエト、中国国家、中国81軍そして我々の計4チームでの戦いとなった。ソビエトのキエフ市チームはワールドカップに7人が選手として参加するなど、ソビエトでもトップクラスのチームである。一方、我々東芝チームは来瀋予定の外人3人が来瀋できず少々戦力ダウンは否めない。その夜、瀋陽市主催の晩餐会があり、本場の中華料理を大いにごちそうになった。

27日いよいよ試合。中国国家チームとの対戦である。8時キックオフのナイターで行われた。前半15分頃、1点を入れられたが、その後DF陣が頑張りハーフタイム。後半はスタートから全員の動きが良く、15分過ぎ八木のセントリングを向島が決め同点。なおも勢いに乗り、一方的に相手陣内で展開。決定的なチャンスもあったが生かせないうちに、逆に相手に速攻で1点を決められてしまい、結果は1対2の惜敗。試合前の評価で中国チームの一方的ゲームを予想していた地元関係者は、東芝の善戦に驚きの色を隠し切れなかったようである。

2戦目は、81軍との対戦。東芝チームは前半からリズムに乗れず、再三ゴール前に攻められ苦しい戦い。DF、GKの好守に助けられハーフタイム。しかし、後半、2点をたて続けに取られてしまった。レフェリーの笛も一方的に中国サイドで観客は大さわぎ。東芝に大声援であった。それに応えるかのように、堀が20mのロングシュートを決めて1点差。なおも攻め込んだがタイムアップ。試合終了後、レフェリーに向かってたくさん物が投げつけられるという一幕もあり、負けはしたが、東芝チームは地元観客に好印象を持たれ、日中友好の役目の一つを果たしたと思う。



10年ほど前に私が韓国遠征に行った時は、少なからず対日感情の良くないものを感じたが、今回の遠征では全然そのようなものは感じなかった。街には戦時中に建てられた建物がたくさん残っており、我々が試合をした競技場もそうだと聞きびっくりした。収容者数2万4千人で、ほかに6万人入る競技場もあり、スポーツ都市瀋陽の感があった。また、街には自転車も市民も一杯で、人口の多さを眼のあたりにした。商店街、デパートでは家電用品に人気があり、たくさんの人が集まっていた。

瀋陽市はこれまで、川崎市との姉妹都市関係の中でスポーツ、文化交流を行ってきたが、今後は経済交流も活発に行いたいとの話を関係者から伺った。経済関係の遅れを取り戻そうとする意欲が強く感じられた。

最終日には、北京観光や万里の長城へ行き、長い歴史の一コマを垣間見ることができた。古くて大きな国、中国。そして人口の多い国、中国。1週間という短い期間であり、ほんの一部の中国しか見ることができなかったが、何か愛着を感じた。また機会があれば行って見たい国、それが中国である。スポーツ交流を通して中国瀋陽市との友好は更に深まって、大成功の遠征であったと思っている。

さあ大へん！でも大丈夫！ スポーツ事故の応急手当て法

(日) 熱射病について



連載(第13回) 完

日赤神奈川県支部委嘱救急法講師
川崎体育救護クラブ 副会長

左澤重明



◎ 熱射病への無知が若い命を奪う！

地球の温暖化うんぬんは別として、ことしの夏は異常に暑い。同じ高気温であっても、ハワイや米国西海岸あたりでは空気が乾燥しているため、さほど不快な感じはないが、日本沿岸部は高温多湿であるために不快指数も大きい。高温多湿は熱射病発生の好条件である。この致死率の高い、急激に発生する疾病によって毎年のようにスポーツマンが死亡している。10数年以前に発生した千葉県某高校ラグビー部員の熱射病死はスポーツ指導員の無知がもたらしたものとして、新聞により厳しく糾弾されスポーツ界への大きな警鐘となった。

しかし、それにもかかわらず熱射病による死者はスポーツ界に後を絶たない。県下でも某大学ワンゲル部や某山岳会の丹沢表尾根における熱射病死は記憶に新しいし、学校体育界でも毎年のように事故が発生している。熱射病は早急な処置を必要とする緊急な重病であるにもかかわらず、それに対する予防措置・救急措置法を知らぬ者が未だに多いのは嘆かわしいことである。

◎ 日射病と熱射病について

日射病と熱射病はしばしば同一視される。確かに両者は出てくる症状が全く同じであり、救急処置も同様であるため同一視されるが、厳密にはそれは正しいとはいえない。両者は発症は同じであっても原因が異なっている。すなわち、日射病は直射日光に長時間さらされた時に起こる急病であって、周囲の気温の高さとは直接的な関係はない。高気温でない高峻山岳でも発生するのは、紫外線の強い直射日光下に着帽もせずに、長時間活動をし後頭部をさらしたためである。熱射病の方は太陽とは関係がない。曇天下や室内競技でもしばしば発生する。高温多湿な環境下で長時間にわたり肉体的活動を行った時に発生する。どんなに頑

強な人にも起こりうるものである。

◎ 日射病・熱射病発生のメカニズム

人間の体温は常に $36^{\circ}\text{C}\sim 37^{\circ}\text{C}$ に保たれている。それは体内での熱産生と、その熱の体外への放出とのバランスが微妙にコントロールされているからである。高温な環境に置かれた時や、或いは運動による体内の熱産生によって体温が上昇した時には、その熱は汗によって体外に放出される。発汗は気化熱によって皮膚を冷やすので体熱の放出を助けるのである。米国 J. A. ウィルカーソンによれば、0.5ℓの発汗は約200Kcalの熱量、つまり中程度の運動を1時間行った時に発生する熱量の約3分の2を取り除くという。最も激しい運動時には、1時間あたり600Kcal以上の熱が発生するというが、これをすべて放出するためには1,000~1,500ccの発汗が必要となるという。これは高温に順応していない人にとっては限界に近い値であるという。この高温に対する順応性を身につける為にはかなりの日数を必要とする。

私の観察では、最近の若者は暑さに対する順応性が非常に低いようである。これは社会全般の冷房装置の普及によるものであろうが、それはとも角として、普通、人は暑い環境下で活動すると、時間の経過とともに次第に発汗量は低下してくる。このような条件下で長時間休みなく活動を続けると、発汗量は低いレベルにまで落ちこみ、ついには発汗機構と体温調節機構が停止してしまう。これが熱射病である。日射病は、この機構の停止が延髄部分(後頭部)の太陽光線照射によってもたらされるものである。

◎ 皮膚はほてり、発汗は全くストップ

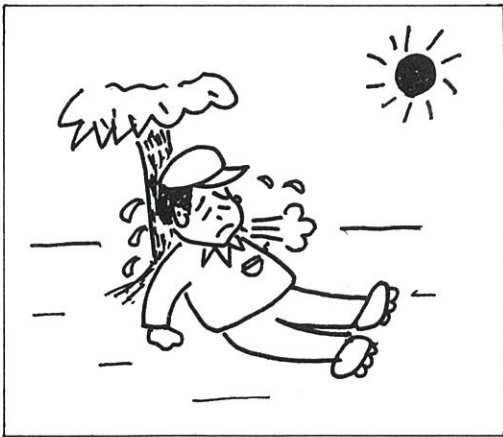
熱射病は急激に発症する。注意力散漫と思われるうちに急速に錯乱、運動不能、うわごと、失神といった状態になる。体温は 40°C 以上に上昇し、

皮膚は熱くほてり、汗は全く出なくなる。汗腺の連続的な活動による疲労に起因するといわれる。脈は強く早く打ち、顔面は紅潮する。

処置は急がなければならない。急がなければ脳障害のため死亡することがある。致死率が高い。また致死症とならなくとも、遅れば遅れるほど後遺症が大きくなる。腎不全を併発する者が多い。

患者の身体をできるだけ早く冷やすことである。まず、何はともあれ患者をできるだけ風通しの良い涼しい所へ運び、衣服を脱がせ、水平位または上半身をやや高めに寝かせる。意識がない時は気道確保の体位をとらせる（連載第7回、人工呼吸の項参照）。意識があり、嘔吐、けいれんなどなければ、冷たい飲物を飲ませる。できれば薄い食塩水がよい（水1ℓに対して食塩茶サジ2杯＝約8gに、重曹茶サジ半分＝約2gの処方）。全身を水で冷やす。あまり冷たい水はいけない。最初はひなた水程度の微温水がよい。四肢の末端から次第に上半身に向けて、水にひたしたタオルのようなもので冷やして行く。同時にこれも四肢の末端から次第に心臓の方へ向けて、全身をマッサージする。血液の循環を促進し、手足の血流のうっ血を防止し、体内の各器管の熱放出を促進させることが大切である。氷枕で頭を冷やしたり、水温を徐々に低くして冷却を続ける。化学冷却剤は使わないほうがよい。

それでも熱が下がらない場合は、身体をシート等で覆い冷水をかけるか、水槽に入れる場合もある。一時的に体温が下がっても再び上昇することがあるので、必ず医師へ担送すること。運搬中も身体を冷やし続けながら運ぶほうがよい。



◎熱疲労について

また熱射病と同じ原因＝高温多湿の環境下で起こる急病に熱疲労がある。これは熱射病とは原因が同じでありながら症状は対照的である。すなわちこちらは、顔面蒼白となり、皮膚は冷たく、発汗のためにベトベトしている。脈は弱く早い。患者の体温はそれほど上がらず、むしろ低い場合もある。熱射病と同様に水分と塩分の欠乏により発病するが、同じ環境下で同じ水分と塩分の欠乏が原因でありながら、人によって熱射病と熱疲労とに発症が異なってくるのは、その人の持っている身体の代償性（暑さへの順応性や抵抗力）によるのである。熱疲労のほうが遥かに軽症であり回復も早い。患者は立ちくらみや、吐き気、嘔吐、頭痛、めまい等を訴える。

処置としては、患者を涼しい場所に運び、枕をせずに水平に寝かせる。汗で濡れている着衣は乾いたものに取り換え、毛布等で軽く包んで保温する。意識が失なわれていなければ、食塩を含んだ水を与える。涼しい風にも当たらせれば回復は非常に早いのが通常である。

◎熱けいれんについて

高熱の環境下、むしろ暑い所でひどく汗をかいて運動したり、風通しの悪い所で多人数が集まっている時など、熱疲労の過程中、筋肉の一部、特に脚と腹部の筋肉が急激に強縮して、けいれんする場合がある。これを熱けいれんというが、これも水分と塩分の不足によるものといわれている。救急処置としてはその筋肉を引き伸ばすことである。（連載記事＝こむら返りの項参照）

◎暑熱障害の予防法

高温多湿という環境条件の悪さだけでなく、衣類の不適、肥満、貧血、疲労、睡眠不足、便秘などが誘因となり、また先に述べたように、暑さに対する順応性ができていない体質の人がかかり易い。炎天下の長時間の起立やランニング、激しい運動は避け、バドミントンのような無風環境で行う室内競技などは、その予防策を考慮しておく必要がある。吸湿性・通風性の良い衣服を着用し、発汗量に見合う水分の補給を適当に行い、同時に塩分も少量補給しておくのが良い。（完）

剣道・弓道ともに昨年度の雪辱なる
テニス圧勝、軟式野球は引分け
陸上は11種目で1位となる

川口市との
都市交歓ス
ポーツ大会

恒例となった埼玉県川口市との「都市交歓スポーツ大会」が今年も行われ、両市の各スポーツ種目選手の友情は一層深まりました。

その中で、昨年優勝を川口市に明け渡した剣道と弓道は、共に本年は勝利を奪回、見事に雪辱を果たしました。以下は主な種目の競技結果です。

○ 剣道競技

7月8日(日) 川崎市石川記念武道館にて

15試合実施

川崎市7勝5敗3引分

勝選手名

塘地健治7段・小山則夫6段・小野竜二5段
大津慎一郎4段・垣井洋之3段・井上淳生2段
成石和也初段 監督は久保田康英7段でした。



○ 軟式野球

6月10日(日) 川口市青木町公園市民球場にて

川崎市代表; 川崎市役所野球部

川口市代表; 犬塚クラブ

試合結果; 同点(延長なし・9回制)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
川崎市	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
川口市	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3

○ 陸上競技

6月10日(日) 川口市青木町公園陸上競技場

男女28名出場

対抗競技としてでなく、川口市民陸上競技選手権大会への招待として参加。次の競技でそれぞれ1位となりました。

男子走高跳 小黒清貴 男子槍投げ 梶 裕之
男子1500m 菅野泰正 同5000m 深谷昌昭
男子110mH 斉藤浩大 男子走巾跳び 鈴木慎二
女子100mH 工藤靖子 女子円盤投げ 今西陽子
女子槍投げ 今西陽子

○ 弓道競技

6月17日(日) 川口市青木町公園弓道場

川崎市 200射 100中 的中率50% 選手25名出場

川口市 208射 90中 的中率43.3% // 26名 //

個人 優勝 藤森康正(川崎)

準優勝 石渡澄穂(川崎)

3位 菅野志保子(川口)

○ テニス競技

6月17日(日) 川口市青木町公園庭球場

男女計23名出場 シングル・ダブルス19試合

川崎市14勝5敗でした。

○ ソフトボール

6月17日(日) 川口市芝スポーツセンター

男子1勝1分 女子1敗1分

川崎市代表は男子 三興製作所

女子 川崎フレンズと片平

以上の競技のほか、卓球が7月22日(日) 川口市新郷スポーツセンターで行われ、また、これからの予定として軟式庭球・クレール射撃競技等も行われることになっております。

延べ18種目競技が開催

春季市民体育大会 市制記念体育大会

市体協加盟団体では、春季市民大会として4月から6月に開催するもの5種目、川崎市の市制記念日の7月1日を挟んで市制記念大会として開催するもの13種目が、それぞれ大会を行いました。

いずれの競技種目も盛会裡に終了しましたが、幾つか記録を拾ってみました。



春季市民体育大会

◎ラグビー 4月15日～6月24日
等々力ラグビー場

<高校の部> 11チーム参加
準決勝 生田高 28-4 桐光学園高
新城高 17-7 住吉高
決勝 生田高 61-7 新城高
3位決定戦 桐光学園高 24-11 住吉高

<一般の部> 20チーム参加
準決勝 富士通 41-8 川崎ク(A)
東芝浜川崎 54-0 日石化学
決勝 東芝浜川崎 28-7 富士通
3位決定戦 川崎ク(A) 18-16 日石化学

◎なぎなた 6月24日 市立石川記念武道館
☆演技の部

<しかけ応じ> 優勝 準優勝 第3位
1 2 3本 渡辺充栄 野口うき子 大沢ちか子
一柳弘子 本田ひろ子 山崎文子
2 4 7本 飯塚美智子 救仁郷恵美子 鈴木洋美
五明早苗 安達信子 浜田綾子
5 6 7本 古賀容子 樋口悦江 河合裕子
高橋由美子 酒井さい子 森尻ひろ子

<全日本形> 優勝 準優勝 第3位
2 3 4本 本田ひろ子 一柳弘子 横山悦子
清水ひろみ 清水淳子 磯谷文子

☆試合の部 優勝 準優勝 第3位
<市長杯戦> 清水ひろみ 古賀容子 本田ひろ子
<団体戦> 本田ひろ子 一柳弘子 河合裕子
安達信子 高橋由美子 鈴木洋美
谷口美佐子 古賀容子 森尻ひろ子

市制記念体育大会

◎バレーボール 7月8日
東芝堀川町、市立川崎高校体育館

<男子1部>
準決勝 N.K.K京浜 2 (21-7)
(21-15) 0 千代田化工
日電玉川 2 (21-7)
(21-17) 0 旭化成川崎

決勝
日電玉川 2 (21-13)
(18-21)
(21-17) 1 N.K.K京浜

<男子2部>
準決勝 東電川崎火力 2 (21-13)
(21-15) 0 日本冶金ク
東芝小向 2 (21-10)
(21-15) 0 東芝総研
決勝 東電川崎火力 2 (21-12)
(21-10) 0 東芝小向

<女子の部>
準決勝 川崎市役所A 3 (17-21)
(21-16)
(21-15) 1 N.K.K京浜
翔クラブ 2 (21-9)
(21-9) 0 藤崎クラブ
決勝 翔クラブ 2 (21-18)
(21-11) 0 川崎市役所
A

◎弓道
7月1日 市営川崎弓道場
☆霰的の部

団体	個人	☆個人総合優勝
優勝 N. K. K	杉山正吾 (東芝小向)	男子 杉山正吾 (東芝小向)
準優勝 東芝小向A	嶋田利泰 (日電玉川)	女子 柳下恭子 (川崎弓道会)
第3位 日電玉川B	高中邦夫 (N. K. K)	☆高校団体優勝
☆色のの部		男子 県立川崎北高校
団体	個人	
優勝 日電玉川	柳下恭子 (川崎弓道会)	
準優勝 東芝小向	高橋昌洋 (N. K. K)	
第3位 N K K	渡辺忠光 (N. K. K)	

第41回神奈川県総合体育大会日程一覧

競技	第 1 日		第 2 日	
	期 日	会 場	期 日	会 場
陸上競技	—	—	9月30日(日)	県立体育センター
バレーボール 競技	9月16日(日)	藤沢市秋葉台文化体育館 (一般男子) 県立体育センター (一般女子)	9月30日(日)	県立体育センター (一般男子) (一般女子) 県立県央地区体育センター (青年男子) 県立西湘地区体育センター (青年女子)
軟式野球 競技	9月16日(日)	県立相模原球場 大和市引地台野球場 茅ヶ崎市営球場 厚木市玉川球場 座間市市民球場	9月30日(日)	県立相模原球場 茅ヶ崎市営球場 ※第1日雨天等順延の 時は第1日会場
サッカー競技	9月16日(日)	県立体育センター 藤沢市秋葉台公園球技場	9月30日(日)	県立体育センター
卓球競技	—	—	9月30日(日)	藤沢市秩父宮記念体育館
バスケット ボール競技	9月16日(日)	平塚市見附台体育館 (一般) 大和市スポーツセンター (青年)	9月30日(日)	平塚市見附台体育館 (一般・青年)
柔道競技	—	—	9月30日(日)	県立武道館
剣道競技	—	—	9月30日(日)	県立武道館
弓道競技	—	—	9月30日(日)	県立武道館
バドミントン 競技	9月16日(日)	相模原市総合体育館	9月30日(日)	相模原市総合体育館
クレー射撃 競技	—	—	9月30日(日)	県立伊勢原射撃場

(市制記念体育大会のつづき)

◎陸上競技 6月24日 市営等々力陸上競技場

(種目)	(優勝者氏名・所属)	(記録)
一般男子 100m	手川 剛 東海大	11" 54
年令別 " "	丹羽健一 TAC	12" 26
" " "	浅野 進 川崎陸協	13" 27
" " "	関 石根 川教夕	13" 92
中学男子 "	加藤 哲 御幸中	11" 84
一般女子 "	中庄谷由子 百合丘高	13" 32
中学女子 "	阿部聡美 南河原中	13" 81
一般男子 400m	藤田和志 菅 高	51" 75
" "1500m	大島秀樹 法二高	4' 13" 88
年令別 " "	松下耕三 東芝浜川崎	4' 22" 73
" " "	金子一幸 東芝柳町	4' 59" 72
" " "	小桧山茂夫 東芝堀川町	5' 10" 02
一般男子 5000m	荻野 浩 ハートブレイク	15' 53" 36
中学男子 3000m	河内則雅 西中原中	9' 36" 89
一般女子 "	増子明美 菅 高	10' 58" 92
中学女子 "	西塚晴美 稲田中	11' 06" 19
一般男子 400mR	百合丘OB	44" 05
一般女子 "	菅高A	52" 13
中学女子 "	西中原中	51" 80

中学男子 800mR	御幸中	1' 34" 15
一般男子 走高跳	濃沼寿一 麻生高	1 m80
中学男子 "	宮内武則 御幸中	1 m75
一般女子 "	藤枝晴美 新城高	1 m55
中学女子 "	奥美保子 白鳥中	1 m45
一般男子 走幅跳	江口晃一 住吉高	6 m57
年令別男子 "	浅野 進 川崎陸協	5 m56
" " "	関 石根 川教夕	4 m97
中学男子 "	渡辺忠行 日吉中	6 m26
一般女子 "	阿部悦子 菅 高	4 m86
中学女子 "	松田知鶴子 高津中	4 m94
一般男子 三段跳	笠倉哲也 住吉高	12 m98
一般男子 砲丸投	阿部 明 百合丘高	9 m84
中学男子 "	芦田永真 東橘中	☆12 m59
一般女子 "	吉沢久美子 菅 高	11 m09
中学女子 "	岩沢正美 向丘中	10 m75
一般男子 円盤投	植竹龍治 川教夕	29 m24
一般女子 "	阿部真紀 麻生高	27 m28
一般男子 やり投	植竹龍治 川教夕	48 m50
一般女子 "	倉谷幸子 生田高	31 m32

市民の要望を うけとめて

体育振興課長 永井日出男

5月1日ついで、体育振興課長に就任いたしました永井でございます。

昭和30年の第10回神奈川国体でお世話になって以来、本市の体育行政とのかかわりは、大変縁が深く、私にとっては、体育協会の皆様に育てられ、今日に至っていると思っております。

着任以来、3ヶ月余りが過ぎましたが、本市の体育行政に対する市民の要望は、年々高まるばかりであり、山積する課題を、ひとつひとつ解決していくことが、私に課せられた使命だと思っております。平成10年に開催される第53回神奈川国体の開催種目も決まり、総合体育館建設をはじめ、現体育館の改築、各区スポーツセンターの設置問題など、ハード面の充実こそが急務だと考えております。体育協会の皆さん、叱咤激励とご指導ご鞭撻をお願いいたします。



平成2・3年度市体協役員一覧

会 長	高橋 清 (市長)
副 会 長	中野 一雄 (テニス)
	谷口 恭男 (学識経験)
	保坂 博 (剣道)
監 事	荒川 美夫 (相撲)
	狩屋 一夫 (卓球)
顧 問	なし
参 与	本田 正男 (野球)
	加藤新一郎 (野球)
	片山 吉隆 (軟式庭球)
	小林 完一 (剣道)
	神山 力 (卓球)
	大山 政次 (陸上競技)
	湯田坂昌平 (バレーボール)
理 事 長	日野原 守 (軟式庭球)
副理事長	作間 牧夫 (学識経験)
常任理事	左澤 重明 (山岳)
	古谷 保 (卓球)
	川島 哲男 (野球)
	桜井 定吉 (相撲)
	長谷川武雄 (水泳)
	永井日出男 (市教委)
会 計	古川 幸一 (スキー)

◆お知らせコーナー

“ストレッチング”講座 25号より新連載

ご好評を頂いておりました「スポーツ事故の応急手当て法」シリーズは今回をもって一応終了いたしました。続いて次号第26号からは「ストレッチング講座」を連載いたします。執筆者は川崎市多摩保健所々長で陸上競技出身の野口春彦先生です。医学的な立場から各種目別に効果的なストレッチの仕方を解説して頂きます。どうぞご期待の上、あなたのスポーツにご活用下さい。



◆編集後記

◎新参です。よろしく。各種目にたずさわる人々の熱意が、川崎市民にストレートに伝わるような広報誌ができればと思っています。(野口)

◎ハンドボールの野口さん、新参どころか編集の大ベテラン。強力な助っ人を得て広報委員会全員改めてハッスル。紙面にも新機軸を打ち出したもの、今後とも頑張るジャン！(左澤)

◎昨年夏から週1回のジョギングを始めて1年になります。30才代は全く体を動かさなかったので体調を崩しがちの体になりました。でも今は毎日快調で酒がうまい！(小坂)

賛助会費納入のお願い

第53回国民体育大会神奈川大会の開催を8年後に控え、川崎市体育協会も法人化をめざし、着々準備を整えてきています。市民の皆様方にも尚一層のご支援を頂きたく、本年度も引続き賛助会費の納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。

賛助会費 個人 2,000円(1口)
団体 10,000円(1口)

◆体育の日記念行事のご案内

10月10日体育の日に各会場でいろいろなスポーツ、レクリエーションが催されます。日頃運動していない方も友人やご家族と一緒に気軽にご参加下さい。

等々力緑地一帯のもよおし 小学生女子対象サッカー教室、少年サッカー対抗試合、小学生野球教室、社会人野球試合、軟式庭球教室、親子ラグビー教室、市民ゲートボール大会、スポーツダンス講習会 救急法ミニデモンストレーション

富士見公園一帯のもよおし テニス教室、少年相撲教室、弓道教室 大師公園一帯のもよおし 小学生野球教室、中学生野球教室、壮年野球教室 川崎市体育館 卓球、バドミントン、トランポリン、エアロビクス、体力測定等 幸スポーツセンター トランポリン、バドミントン、卓球、エアロビス、バスケットボール等 麻生スポーツセンター バドミントン、エアロビクス、卓球、少林寺拳法、剣道、ヨーガ、柔道、石川記念武道館 合気道、柔道、少林寺拳法、剣道、空手道、なぎなた

以上の案内は各体育館にあります。尚、問い合わせは川崎市体育協会へ TEL(200)3312

発行編集 平成2年8月31日(25号)

川崎市体育協会・同広報委員会
〒210 川崎市川崎区宮本町6番地
(川崎市教育委員会体育振興課内)
電話(044)200-3312

▶印刷 秋田印刷有限会社 766-5650